

コロナ明け、9組有志カラオケ大会

丸山隆平（9組）



コロナの脅威がようやく収まりつつあるとされる10月18日（月）の午後、いつもの9組の面々が集まり、2年ぶりのカラオケ大会を開いた。

集まったのは、応援団長で当時教室で左隣だった西村賢治、一つ後ろ席の宮原豊、通学列車でいつも一緒だった赤尾晴夫、郷土班だった塚田道明の5名。

関東同期会でも常連のメンバーだが、コロナ禍もあり、久々の顔合わせとなった。

場所は高田馬場駅前の「カラオケの鉄人 高田馬場店」。

店のアレンジは、今やプロのカラオケ歌手か？と目される西村応援団長が先乗りして済ませてくれるという徹底ぶり。

加えて、宮原が持参のコロナ対策マスクで口を覆うという万全の態勢。

定年後、参加するようになった赤尾は喉の調子がだいぶ上がった。

塚田は相変わらずのマイペース。

当方かというと、大病の結果、あの世の一步手前で戻ってただけに、久々のアルコールも加わり、うれしい限りだった。

11時半から15時まで、飲み放題のグラスを傾けた。

東京は10月25日以降、認証を受けた飲食店に対する要請を解除し、酒の提供時間や営業時間の制限をなくす方針とのことらしい。

ますます、楽しい機会が増えそうだ。

（21年10月22日記）